

シリーズ第5話

「AGA(男性型脱毛症)」

のお話



「最近、抜け毛が気になって…」
「髪の毛のボリュームが少なくなってきたような…」など、頭髪に関するお悩みはありませんか。

今回は薄毛、抜け毛の中でも「AGA(男性型脱毛症)」のお話です。

AGAとは

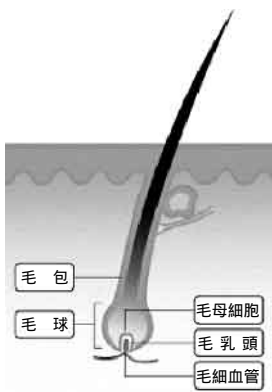
Androgenetic Alopeciaの略称で、一般的には思春期以降の男性に発症する進行性の脱毛症のことです。髪の毛は毛包と呼ばれる部分でつくられます。この毛包が十分に成長しないため、髪の毛が太く育たないうちに抜けてしまいます。

額から薄くなる方、頭頂部から薄くなる方、その両方が同時進行で薄くなる方などさまざまです。一般的に20歳前後から35歳までには症状が現れます。AGAの厄介なところは、進行性の脱毛症であることです。何

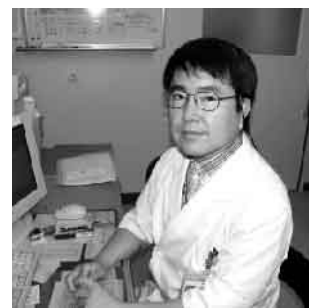
の施しもしないと確実に薄毛が進行します。

AGAはなぜ起こるのでしょうか

髪の毛には寿命があります。生えたばかりの髪は段々太くハリのある硬い髪へと成長し、やがては成長が鈍くなり抜け落ちてしまいます。その期間は男性で約3～5年、女性で約4～6年といわれ、これを「ヘアサイクル」と呼びます。



男性ホルモンの影響でこのヘアサイクルが乱され、髪の毛の成長を止めてしまうことが最も大きな原因のひとつです。また、



新城市民病院 皮膚科
はままつ とおる
部長医師 濱松 徹

偏った食生活や睡眠不足、喫煙、ストレスなどもAGAを進行させる要因です。規則正しい生活を送ることが大切です。

AGAは命にかかわるような病気ではないため、軽視される傾向があります。しかし、当事者にとつて、肉体的苦痛はなくても、精神的苦痛は計り知れませんが、AGAの治療

一昔前まで、AGAでお悩みの方の多くは、市販の「育毛剤」など頭皮につけるタイプを使用していたと思います。しかし、現在では飲む治療薬が登場しています。この薬の登場で、AGAの治療が病院などの医療機関で受けることができるようになりました。

この薬は、AGAの最大原因である男性ホルモンの働きを抑制し、抜け毛を予防する働きが

あります。

AGA治療で一番大切なことは、根気よく治療を続けることです。服用は1日1回の内服で6カ月以上飲み続けることで効果が現れるといわれています。治療を始めてもすぐに効果が現れないからと、途中でやめてしまわず、効果がみられるようになるまで一定期間以上継続しましょう。

この薬の副作用は低いですが、稀に機能低下などの副作用があります。自己判断で1回の量を増やしたりすると、副作用が起りやすくなる可能性がありますので、必ず医師に相談しましょう。

また、AGAの治療は、保険が適用されません。治療費や治療内容の詳細は、医療機関へご相談ください。

市民病院では、皮膚科でAGAの治療を行っています。抜け毛が多くなってきた、髪の毛のハリ・コシがなくなってきたなど、症状が気になりましたら、早めの受診をお勧めします。